

今年もコロナ禍での「後期開始」！！



今年は、新型コロナウイルス感染症対策でまん延防止等重点措置の適用に伴い、県独自の緊急事態宣言も延長され、より一層の感染防止取組の徹底が求められています。

そんな状況の中で後期が始まりました。私達は、まずは自分の健康を守り、同時に他人の健康にも配慮しながら今まで以上に感染防止に努める事が求められます。学園、家庭、地域が一体となってコロナ対策に取り組み、充実した学園生活を送りましょう。



昭和42年向陽伝統の「文化祭」です！

菊花かおる11月25、26、27日の3日間本学園の伝統に輝く特色ある企画で、文化祭が華やかに開催された。和洋裁、手芸、染色、食物、衛生看護科の医療器具、華道等、生徒作品400余点の丹精こめた力作が展示された。また、被服科生の染色、手芸、食物等の実習、商業科性の事務機の操作実習、理科実験、茶道部の茶会等、日頃積み重ねられた成果がよくうかがわれる立派な催しとなった。それに生徒作品の即売会、商業科の陶器即売会、講堂には生徒が調理した料理を生徒の接待で提供する食堂が設けられた。なお今年は園児の作品や、特別展示として各中学校からの作品も展示された。

昭和42年12月20日向陽新聞第29号より一部抜粋



種目		学年		文化祭の内容	
分	類	一	二	三	年
和裁	男物単衣長着 女物袷長着	一ツ身袖無羽織 女物袷浴衣 帯 早縫浴衣	男物上仕立 コート 男袴実物見本 早縫浴衣	173	点数
洋裁	エプロン ワンピース スカートの ベスト	女遊児 男遊児 眼 着服	日本刺繍 額面軸 額紙 はりりッ はコス りッ 絵トッ	285	
手芸	サマーセーター ジョール アフガン編 ソックス	吊紗こぎん スエーデン刺繍 スエーデン刺繍 フランス刺繍 アフガン編小物入れ キルトイング	皮革 造花 ペンダント カフスセツト 指輪 更生染色 セーター 毛糸 帯傘 ネクタイ ペンケース 小物入れ	433	
染色	・ろうけつ染 のれん	・紋り染 蒲団 帯あげ 座蒲団 ・ろうけつ染 クッション 傘	245		
手芸クラ	・てまり セーター刺繍	77			
編物クラ	・セーター カーデイガン	20			
商業科の作品	・スカーフ スカート	90			
食物クラ	芋料理十二種 ビクトルス八種	クッキー三百包 おでん 三百本	22種		
衛生看護	統計表 医療器具器械全点				
華道部	季節の花・若いアイディアの花	70			
幼稚園出品	絵 細工 粘土細工 合作約一千点				
商業科出品	事務器械 器具の操作 蒸気吸入 肺活量測定 握力測定 体重測定 ベントメーキング かぶらん染 皮染 マフラー				
衛生看護	せつけん中の遊離アルカリの測定 中の許可外色素 繊維の側面の顕微鏡観察 琴海・嘉太・有喜・長田・北諫早・玖島・波佐見東・波佐見南佐賀県吉田・嬉野の各中学校より習字 図画 刺繍 染色等の生徒作品百十九点				
理科実験					
編物実習					
染色実習					
習					
実					
品					
示					
展					
別示					
出品					
品					

【11月の主な行事予定】

3日: 向陽祭
7日: 入試説明会
22日: 後期中間考査開始
※県新人大会: 剣道(6・7日)
バドミントン(13~15日)

BI科 スクーリング

ET科 AEA試験、サロン実習

HU科 介護実習

KA科 臨地実習

いま「高校」では!

KOYOファイト!



「コロナウイルス感染防止対策」

- ①こまめな手洗い・うがい
- ②定期的に換気
- ③会話はマスクを着用
- ④食事は黙食
- ⑤不要な外出は控える
- ⑥毎日、検温

発熱や体調不良等の症状がある場合や何か心配事がありましたら学校に連絡をしてください。



長崎リハビリテーション学院

リハビリテーションは誰かの「生きる」をささえる、
やりがいのある仕事。

電話・FAXでのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-635-636/TEL 0957-53-7883

FAX 0957-54-6882/受付時間: 平日9:00~22:00



<シリーズ> 2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

「諸先輩の尊い命の犠牲の上に今がある」

この記事は、向陽高校の前身である「大村女子職業学校」の生徒が学徒動員で作業中、昭和19年10月25日の大村大空襲で若き命を失いました。その合同慰霊祭(昭和55年10月26日大村慰霊塔公園)での、学徒報告隊代表として戦禍を共にした卒業生野田丸枝(旧姓松田: 昭和20年本科第21回卒)さんの慰霊の言葉です。

私達は、学園が2024年100周年を迎えるにあたり、15、16歳で亡くなられた諸先輩方の尊い命の犠牲の上に今があることを忘れてはいけません。



慰霊のことは

動員生活も六ヶ月目となりやっと仕事になれ、充実した毎日を送っておりました矢先、昭和19年10月25日の大空襲は突如として私達の運命の転機をもたらしたのでありました。数時間に及ぶB29の波状攻撃もやっとおさま、部品工場の私達は友の無事を確かめ合い手を取り合っでうれし涙を流しましたが、後になって機械工場の小川良子さん、向井美子さん、下級生の平湯辰枝さん、松尾恵美さんの四名の方々がお亡くなりになられた事の報せに皆茫然として悲しみの涙を新たにいたしました。

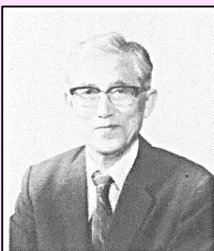
共に語り合い将来を夢見ていた友を亡くした悲しみ悔しさを30数年を経た今日でも忘れることなく、一人で

涙しております。当時のこの思いは何時までも私達の胸に残っております。貴女方をいつくしみお育てになられたご両親様の胸の中に想いはせませす時、子を持つ身になった今、しみじみとその悲しみが如何に深いものであったかを知ることが出来ました。貴女方の尊い犠牲の上に私達は人生の半ばすぎ幸せな毎日を送らせて頂いております。その尊い死を無駄にしないよう目まぐるしい世界情勢の中、声を大にして平和を訴え続け余生を意義深く送りたいと思っております。この緑豊かな思い出の地大村で安らかに眠りくださいませ。

「積雲を つと光り去る銀翼に

身構えることもなき 今日の平和を」

(昭和56年3月向陽新聞第59号より一部抜粋)



昭和一九年一〇月二五日、大村の第二海軍航空廠(しょう・飛行機の製造修理場)が米空軍の爆撃をうけ、東洋一を誇った広大な施設が一時間余で壊滅的に破壊された。この時三〇余名の戦死者が出た。当時学徒動員とか、挺身隊とかいって、大村女子職業学校(向陽の前身)ほか大村、諫早、島原など県内および県外の

学校からも多数の上級生が先生に引率されて空襲で作業をしていたので、生徒からも多数の犠牲者が出た。本校では本科三年松尾恵美子、平湯辰枝、四年小川良子、向井美代子さんの四名が十五、六歳の若さで散華されたのである。毎年十月第四日曜日に、殉職者の慰霊祭が慰霊塔公園で行われ、各校の同窓生も県内外から参列しておられる。わが向陽の歴史にも、さまざまな激動の時期があつて、同窓の尊い血潮が流されたことを忘れぬようにとペンをとった次第である。

“太平洋戦争と向陽学園”
— 四人の御霊・安らかに —
向陽学園常任理事 宮川 龍 光

